

(様式1)

記載例 Ver.1 2022/05/26

教 員 個 人 調 書

コメントの追加 [人事1]: ◆任期の定めを外す審査であっても講座内で書類を十分に確認したうえで提出する。

履 歴 書				
フリガナ	アカギ タロウ	性別	男	生年月日 (年齢)
氏名	赤城 太郎			昭和XX年XX月XX日 (満X歳)
国籍		現住所	〇〇県〇〇市〇〇町T-T-T	
月額基本給	千円			
学 歴				
年月	事 項			
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇学部卒業			
平成〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇学専攻博士課程修了 (博士 (〇〇)) (甲〇〇号) 「△△の研究について」			
職 歴				
年月	事 項			
平成〇年〇月	日本学術振興会特別研究員 (DC)			
平成〇年〇月	㈱〇〇研究所研究員 (平成〇年〇月まで)			
平成〇年〇月	研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記載 (平成〇年12月まで)			
平成〇年〇月	〇〇大学〇〇学部講師 (平成〇年〇月まで) <input type="checkbox"/> 〇〇概論, <input type="checkbox"/> 〇〇実習			
令和〇年〇月	群馬大学教育学部 講師 (令和2年3月まで)			
令和2年4月	群馬大学共同教育学部 講師 (現在に至る)			
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
現在所属している学会	日本〇〇学会, △△学会			
年月	事 項			
平成〇年〇月	日本〇〇学会評議員 (平成〇年〇月まで)			
平成〇年〇月	日本〇〇学会認定 〇〇専門医 (第〇〇〇号) (平成〇年〇月まで)			
令和〇年〇月	日本〇〇学会 編集委員 (現在に至る)			
賞 罰				
年月	事 項			
平成〇年〇月	〇〇学会〇〇賞 受賞			
現 在 の 職 務 の 状 況				
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況	
〇〇大学	講師	〇〇学部	学部: <input type="checkbox"/> 〇〇演習, <input type="checkbox"/> 〇〇概論 大学院: <input type="checkbox"/> 〇〇内容研究	
設 置 後 の 職 務 の 状 況				
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況	
上記のとおり相違ありません。				
令和〇年 〇月 〇日	氏名 赤城 太郎 印			

コメントの追加 [人事2]: ◆教員個人調書はすべて和暦

コメントの追加 [人事3]: 外国籍である場合にのみ国名を記載してください。

コメントの追加 [人事4]: 記載不要

コメントの追加 [人事5]: 要領(3)「学歴」の欄についてを参照
◆学位論文名を記載するのは博士論文のみ

コメントの追加 [人事6]: 要領(4)「職歴」の欄についてを参照
◆TAは記載しない

コメントの追加 [人事7]: 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称 (大学院にあっては、判定結果を含む) を記載してください。

コメントの追加 [人事8]: ◆教育学部と共同教育学部を分けて記載

コメントの追加 [人事9]: 要領(5)「学会及び社会における活動等」の欄についてを参照

コメントの追加 [人事10]: ◆ , , は書類内で統一されていなければどちらでも可能

コメントの追加 [人事11]: 記載不要

(様式2)

記載例 Ver.1 2022/11/07

教 育 研 究 業 績 書		
令和 ○年 ○月 ○日		
氏名 赤城 太郎		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
内科系臨床医学 ○○学 ○○学	○○○ △△△ □□□	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
1) ○○を取り入れた授業実践 実践している講義 ・「○○○概論」(◇◇大学) ・「○○○特論」(△△大学)	平成○年○ 月1日～現 在	
2) LMSを活用した事前課題、授業資料、授業外フ ィードバック 実践している講義 ・「○○○概論」(◇◇大学) ・「○○○特論」(△△大学)	平成○年○ 月1日～現 在	
3) ○○試験対策としての授業外指導	平成○年○ 月1日～現 在	
2 作成した教科書、教材		
『○○の理論と実践』の分担執筆	平成○年○ 月○日	○○向けのテキストとして分担執筆。 第○章「◇◇◇◇」を担当。
○○講義用のビデオ教材の作成	平成○年○ 月○日	
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
群馬大学 「○○○」における学生評価	令和2年4 月1日～令 和3年現在	「○○」「◇◇」「○◇」の評価項目いずれも「現 状で良い」もしくは「特に良い」と回答されていた。
ベストティーチャー賞受賞	平成○年○ 月	
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
	平成○年○ 月○日	
5 その他の実績		
	平成○年○ 月○日	
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要

コメントの追加[人事1]: 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記載してください。

コメントの追加[人事2]: 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記載してください。

コメントの追加[人事3]: 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記載。

コメントの追加[人事4]: ◆教育方法の実践例では、大学の授業内外における取り組みを記載する。

コメントの追加[人事5]: 要領「2 作成した教科書、教材」の例
授業や研修指導等で使用する著書、教材等を記載。◆小中学校等の教科書作成はここでは記載しない。

コメントの追加[人事6]: 要領「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
○学生による授業評価、教員による相互評価等の結果を記載する。
○本学における自己点検・評価での評価結果は記載しない。

(様式2)

記載例 Ver.1 2022/11/07

1 資格, 免許 〇〇免許 小学校教諭選球免許 中学校教諭二種免許 (国語)	平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日 平成〇年〇月〇日	免許証番号第〇〇〇〇号 (発行機関名) 平〇〇専修第〇号 (〇〇県教育委員会) 平〇〇中二種第〇号 (〇〇県教育委員会)
2 特許等 〇〇装置	平成〇年〇月〇日	〇年〇月〇日出願 特許第〇号 △△と共同
3 実務の経験を有する者についての特記事項 〇〇審議会の委員	平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇〇審議会において, 〇〇委員として〇〇した。
4 その他		

コメントの追加 [人事7]: 「1 資格, 免許」を参照
 ◆教員免許を記載する場合には発行した自治体を必ず記載する。専修免許の場合には1種免許の記載は不要。
 ◆運転免許状は記載しない。

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 ◇◇の〇〇入門	共著	2016年5月	〇〇出版 第〇章『 (PP. 〇-〇)』	〇〇△△ (編著), 〇△〇△, ◇◇〇, 本人氏名, 〇〇△, △△〇〇
2 〇〇の基本と実践	共著	2018年8月	△△出版会 第〇章『 (PP. 〇-〇)』	△△〇〇, 〇〇〇〇 (編), 本人氏名 他 12名
3 〇〇にみる△△の発達	単著	2020年4月	〇〇書店 (全196ページ)	本人氏名
4 〇〇診断法	共著	2022年4月	〇〇社 第△章第〇節『 (PP. 〇-〇)』 第〇章第△節『 (PP. 〇-〇)』	〇〇△△ (編著), 〇△〇△, ◇◇〇, 本人氏名, 〇〇△, △△〇〇
(学術論文)				
1 Teaching health education: thematic analysis of early career teacher's experiences. (査読付)	共著	2019年11月	European Journal of 〇〇〇 Education, 78 (PP. 〇-〇)	Ken GUNMA, Haruna ASAMA, Taro AKAGI, and Toru OTA.
2 Academic staff engagement in education for 〇〇〇	共著	2008年2月	American Journal of 〇〇〇 Education, 99 (PP. 〇-〇)	Taro AKAGI, Ken GUNMA, Haruna ASAMA, and Toru OTA.

コメントの追加 [人事8]: ◆ここから西暦

コメントの追加 [人事9]: ◆翻訳書は著書では記載しない。その他で記載。

コメントの追加 [人事10]: ◆共著では書名を記載 (執筆章の題目でなく)

コメントの追加 [人事11]: ◆提出する業績 (書籍, 論文) のみでは, 発行の月がわからない場合は, 月が記載の資料提出。

コメントの追加 [人事12]: ◆共著・分担執筆の場合には, この欄で執筆した章等の題目を記載する。

コメントの追加 [人事13]: 次の順序で記載してください。

ア 欧文, 和文の順
 イ 新しいもの (現在) から過去の順
 ウ 同一年では単著 (又は筆頭著書), 共著の順
 ◆商業誌に発表したものは含めない
 ◆博士の学位論文は, 他の業績としてダブルカウントにならないようならば掲載が可能。また任期を外す審査の際には掲載可能。

コメントの追加 [人事14]: ◆英文タイトル: はじめの単語頭文字のみ大文字

コメントの追加 [人事15]: 英文名前は, personal name (頭文字のみ大文字) → family name (すべて大文字) で。

コメントの追加 [人事16]: ◆3名以上では, and を入れる。

(様式2)

記載例 Ver.1 2022/11/07

3 ○○○における△△の検討 (査読付)	単著	2021年3月	◇◇研究, 第○号 (PP. ○-○)	本人氏名
4 ◇◇における○○に関する実験的研究	共著	2020年3月	◇◇教育実践研究, 第○号 (PP. ○-○)	○△○△, ◇◇○, 本人氏名, ○○△, △△○○
(その他) 学会発表				
1 A Study of ○○○ in Japanese Teachers.	—	2019年10月	The15th International Conference of IAESS 2019 (Germany)	Ken GUNMA, Haruna ASAMA, Taro AKAGI, and Toru OTA.
2 ◆ Teaching health education: thematic analysis of early career teacher' s experiences.	—	2018年6月	The 19th Annual Conference of the European Society for Educational Sciences (The Netherlands)	Taro AKAGI, Ken GUNMA, Haruna ASAMA, and Toru OTA.

コメントの追加 [人事17]: ◆PP. は大文字で

コメントの追加 [人事18]: キ 学会発表については、国際学会と国内学会に分けてください。なお、特別講演、教育講演、シンポジウム等の発表のみ記載し、一般演題発表は記載しないでください。ただし、国際学会あるいは外国における学会での一般発表は記載してください。

コメントの追加 [人事20]: 学会発表等の場合は「—」を記載してください。

コメントの追加 [人事19]: ◆英文では最後に . ピリオド表記

コメントの追加 [人事22]: ◆英文では最後に . ピリオド表記

コメントの追加 [人事21]: ◆開催地は、国名? 都市名? (検討中)

(様式3)

科学研究費補助金等の受給状況

(番号、年度、研究費の名称、補助を受けた研究課題名、代表・分担、金額) [受給年の新しいものから順に記載]

1. 20XX年度～20XX年度 基盤研究(C)「〇〇〇〇を利用した△△△△に関する研究」(代表) YY,YYY千円
2. 20XX年度～20XX年度 基盤研究(B)「〇〇による××の解明」代表者〇〇(分担) YY,YYY千円(分担Y,YYY千円)
3. 20XX年度～20XX年度 受託研究 科学技術振興機構(さきがけ)「〇〇を利用した△△の促進」(代表) YY,YYY千円
4. 20XX年度～20XX年度 共同研究 (株)〇〇 「〇〇に関する研究」 YY,YYY千円
- 5
- 6
- :

その他の履歴・業績等

【研究業績等に関する事項】

(実技)

1999年8月8日 第100回全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 男子100m 2位

2002年6月6日 第100回日本陸上競技選手権大会 男子100m 3位

【教育上の業績】

1998年4月～2000年8月 ○○大学○○学部において「○○学」担当（非常勤）

【義務教育諸学校又は高等学校等での指導経験】

2001年4月～現在 ○○市立○○中学校において「○○」「○○」担当，及び「進路指導主任」
「1年生学年担当主任」「生活指導主任」を担当